信篤（SHINTOKU）
いちかわ

市川市議会議員 松永おさみ
後援会だより　第六号

事務所／原木1-22—16　電話・FAX　047-327-1470
http://www.ryokufukai.net/

九月議会　信篤地域の治水対策　公園広場の設置を訴える

市川市議会九月定例会が、九月四日から二十二日迄の日程で開かれました。

今回の議会は、市長から提出された議案十件を中心に審議が行われ、全て原案の通り可決されました。審議にあたって、松永おさみは新たに制定する市民のマナー条例と補正予算の内、クリーンセンター余熱利用施設整備・運営PFI事業等について質疑を行い、一般質問では、地元の問題を中心に市側の考え方を質しました。その概要を下記により報告させていただきます。

☆真間川の階段が完成

原木山の東側、真間川の土手から原木橋に通じる北側の場所は、今迄高さ九十センチのコンクリートの壁があったため、一般の人の通行は、危険で困難な状態でした。

松永おさみが、地元の強い要望をふまえ、選挙公約の一番に掲げた、この場所に階段を設置するため関係行政庁に働きかけをした結果、この度、行政の理解と協力で実現しました。

朝夕の散歩をはじめ、地域の私達に大いなる利便を提供してくれます。

皆様とともに喜びたいと思います。

☆九月議会での一般質問

質問　十六年度予算編成について

①『市制七十周年に当る節目の年を迎えて、予算編成の大綱と市長が考える力点について』

答弁『毎年とりわけ大きな課題となっている、地域環境・健康等をキィワードに、優先度の高い施策を展開してきた。』

②『二十回を迎える花火大会について』

答弁『新年度のメインテーマは、地域との協働、市民参加を基本に健康や環境問題などがキィワードになるものと考えている。』

③『校庭の芝生化対策について』

④『庁舎建設基金の積み立てについて』

⑤『予算・決算の推移、市税の動向について』

⑥『郭沫若氏の旧宅移築復元工事について』

答弁『市民要望を十分把握している所管部課からそれぞれ強い要望があると考えるので、予算編成の中で質問の主旨を十分考慮しまして、厳しい財政状況の中ではあるが詰めてまいります。』

質問『中小企業資金融資条例について、融資運営委員会の廃止についての考えは』

答弁『借り手側から見れば、一日も早く融資を受けることが一番かと思うが、適正に運用することも肝要、現在融資制度全般にわたり検討・見直しをしているので、存廃問題も含めて関係者の意見を聞きながら、鋭意取り組んで参りたい。』

質問『国民健康保険事業について—無診療者に対する報償制度の創設は』

答弁『平成十年度迄報償品制度を実施した経緯はある。社会保険制度は、お互いに保険金を拠出し合い運営をしていく制度なので、一律減額をすることは、制度の趣旨から好ましくない国庫支出金も出ているもの。』

（裏面に続く）

質問『信篤地域（高谷・田尻・二俣）の治水対策について』

答弁『高谷・田尻地区の抜本的対策として高谷川の改修工事の着手、排水機場の能力アップの早期完成を県に対する要望として、下水道事業として市の中・長期的計画の検討・策定作業を行っています。

また、外環道路計画の検討・策定作業を行っているので、今後雨水幹線排水路の整備に着手していきたいと考える。』

質問『信篤地区の公園・広場の設置について

信篤地域は、市川市民一人当りの公園面積二・七㎡のわずか三分の一しかない状況であるが、信篤地域の一人当りの公園面積は〇・九四㎡』

答弁『当地域の公園面積は七㎡ですが、当面の対策として、一七七㎡ご指摘の高谷二丁目の法務局跡地約一七七〇㎡と近接の七五六㎡の土地については、公園化することについて協議を進めていくが、公園化することについて協議を継続していく。

引き続き、原木西浜土地区画整理事業内に、公園面積四、四五〇㎡を確保する予定であるが、原木二丁目の国有地もあるため、市と国が協議し、公園の売却予定物件などの情報を得ないので、今後公園候補地として活用していきたい。

現状では、確保が困難であるこのような対応が国有地もなく公園

質問『高谷中東側の排水路整備について』

答弁『この排水路の抜本策である幹線排水路等の整備には、長い期間と相当の財源を必要とし、暫定的には草刈や流水支障が生じるなどの維持管理を行い、定期的に清掃や波漂などの維持管理を行い、機能保持に努めたい。』

質問『高谷中東側隣接の排水路整備について』

答弁『これらの排水路の整備については、定期的に清掃や波漂などの維持管理に努めます。』

質問『路線バス（原木タクト～JR西船橋駅南口）の存続について』

答弁『バス運行の準備を進めているJ・B・S社が国に運行許可を申請中であるので、その状況を市は見極めてまいります。』

☆クリーンセンター余熱利用

温泉掘削・二十八度のお湯

〔議案質疑〕補正予算で二十五億六千万円の債務負担行為補正の追加がありました。

質疑の中で明らかになった事項としては

◎温泉を掘る、千二百M、二十八度のお湯が出る。

◎施設内容としてプールゾーン、風呂ゾーン、休憩ゾーン、スタジオ、トレーニングルーム他。

◎開設―平成十七年十一月を予定。

☆監視カメラを設置

ゴミの投棄が絶えない高谷中東側通用門入り口周辺の空き地は、心ない人達の行動でいつもゴミの山となっています。

そこで、市清掃事業課と相談して、ゴミの不法投棄の見張り役としての監視カメラを、九月二十七日現地に設置しました。〔写真左〕お互いに町の美化に協力しましょう。